

2024 年度環境保全研修会（第 1 回） 実施報告

2024 年 12 月 9 日（月）に今年度環境保全研修会の第 1 回目を、会場での受講と ZOOM を活用してのオンラインと同時開催で実施いたしました。

内容としては、「脱炭素」をテーマに相模原市から「脱炭素社会の実現に向けた取組について」、また県内事業所である(株)エニマスの「儲かる省エネやりましょう！省エネから脱炭素につながる事例紹介」と題し、取組事例のご紹介、また会員企業のアンリツ(株)からは「カーボンニュートラルの実現に向けたアンリツグループの取り組み」について、それぞれ解説をいただき受講者の皆様からも高評価をいただきました。この研修会は、環境実務担当者として活躍されている方向けに他社の取り組みなどの情報収集を図る機会として最適な内容の研修会となっております。また、今回の講義内容については、Youtube 動画での提供にも対応しておりますので、是非ご活用ください。

日時：2024 年 12 月 9 日（月） 13：30～16:30

会場：波止場会館 5 階 多目的ホール

受講者数：会場受講 15 名、オンライン受講等 13 名（全会員事業所）



【受講者からの感想・ご意見】 * アンケート結果から抜粋しています。

- 知見を広げる良い講義でした。日本の森林は少ないと思っていたため、海外の森林に頼らざるを得ないと思込んでいたが、管理された森林が 36.7%ということでまだまだ対応できることがあるのだとあらためて思いました。相模原市のふるさと納税などに協力出来たらと思いました。
- 自治体のゼロカーボン宣言後の取り組みは往々にして自治体の施設の省エネ施策など、環境設備類導入時の補助金くらいかと思うが、多方面、多岐にわたる施策に取り組みされており大変参考になった。
- 質問することがなくなるほど、具体的で分かり易い説明でした、設備管理や省エネ担当であれば大変参考になる内容だったと思う。
- 省エネは負荷を下げることは新発で自社の見直しのきっかけになりました。通常は定格の 7～8 割の負荷にするという省エネの常識が変わった。日よけや散水は低コストで高効率を再認識した。
- 自ら設備化を進める方針にしたアンリツ様の積極的な対策にととてもすごい事だなと、思いました。また、自販機からのペットボトル廃止についてもとてもすごい取り組みだと思います。トップメッセージが素晴らしいです。
- 再生可能エネルギーは電力会社から購入すれば良いという会社が多い中、自家発電比率向上の取り組みは素晴らしいと思う。